【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2004-8535(P2004-8535A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-167038(P2002-167038)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　8/00
　Ｇ０６Ｔ　1/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　8/00
　Ｇ０６Ｔ　1/00　２９０Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月26日(2005.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
超音波探触子によって取得した超音波画像を表示したり記憶したりする超音波診断装置の有する種々の機能の中から所望のものを、パーソナルコンピュータに移植することによって、前記超音波診断装置と同等の処理を前記パーソナルコンピュータ側で実行できるように構成したことを特徴とする医用診断システム。
【請求項２】
請求項１において、前記超音波診断装置の有する種々の機能として、画像ビューア機能、ファイリング機能、計測機能、画像検索機能、計測レポート作成機能、並びにキャラクタ入力及びアノテーション機能の少なくとも一つを前記パーソナルコンピュータ側に移植し、実行できるようにしたことを特徴とする医療診断システム。
【請求項３】
請求項２において、前記計測機能に含まれる計測式をパーソナルコンピュータ側で編集して新計測式を作成し、作成された新計測式をパーソナルコンピュータ側で検証し、検証された新計測式を前記超音波診断装置側に戻し、前記超音波診断装置が前記新計測式に基づいて計測処理を行うことができるように構成されたことを特徴とする医療診断システム。
【請求項４】
超音波探触子によって取得した超音波画像を表示したり記憶したりする超音波診断装置の有する種々の機能の中から所望のものを、パーソナルコンピュータに移植することによって、前記超音波診断装置と同等の処理を前記パーソナルコンピュータ側で実行できるように構成した医用診断システムであって、前記超音波診断装置の有する種々の機能の中の計測機能に含まれる計測式をパーソナルコンピュータ側で編集して新計測式を作成し、作成された新計測式をパーソナルコンピュータ側で検証し、検証された新計測式を前記超音波診断装置側に戻し、前記超音波診断装置が前記新計測式に基づいて計測処理を行うことができるように構成されたことを特徴とする医療診断システム。